



議会だより かどがわ



「うみすずめ」3周年記念フェスティバルでの高千穂エイサ～

もくじ

20年度当初予算	2
19年度補正予算	3
常任委員会報告	4
一般質問	7
条 例	11



平成20年5月
NO. 114

20年度
一般会計
当初予算

56億円

平成20年度予算

20年度当初予算は、一般会計・特別会計・公営企業会計を合計した総予算額107億2,493万円で昨年度当初予算と比較して9億9,877万円減、率にして8.5%の減額となります。

一般会計 56億円

歳入

町税	15億1,841万円
地方交付税	18億2,000万円
県支出金	4億8,792万円
国庫支出金	3億1,984万円
町債	2億4,180万円

特別会計

国民健康保険事業	25億2,804万円
老人保健事業	3億6,082万円
後期高齢者医療	3億2,591万円
介護保険事業	13億9,842万円
草川土地区画整理事業	4,106万円
簡易水道事業	964万円

歳出

義務的経費(人件費・扶助費・公債費)	28億9,612万円
投資的経費(補助・単独・単单独道路維持各事業費)	4億8,210万円
一般行政経費(物件費・繰出金・補助費)	9億1,951万円

公営企業会計

水道事業	4億6,100万円
------	-----------

19年度一般会計補正予算 7,052万円を減額

歳入歳出それぞれ62億2,912万円

歳入では

・使用料及び手数料	534万円増額
・国庫支出金	417万円増額
・分担金及び負担金	421万円減額
・県支出金	2,483万円減額
・繰入金	2,968万円減額
・諸収入	1,637万円減額

歳出の主なものは

・人件費	7,880万円減額
・庁舎エレベーター工事費	3,590万円減額
・電算事務費	1,594万円減額
・住宅管理費	1,913万円減額
・災害復旧事業費	1,581万円減額
・財政調整基金積立金	4,000万円増額
・特別会計繰出金	4,701万円増額
・繰上償還金	3,310万円増額

特別会計補正予算

・国民健康保険事業	25億2,236万円(5,026万円増額)
・介護保険事業	14億1,387万円(31万円増額)
・簡易水道事業	1,138万円(224万円増額)

可決

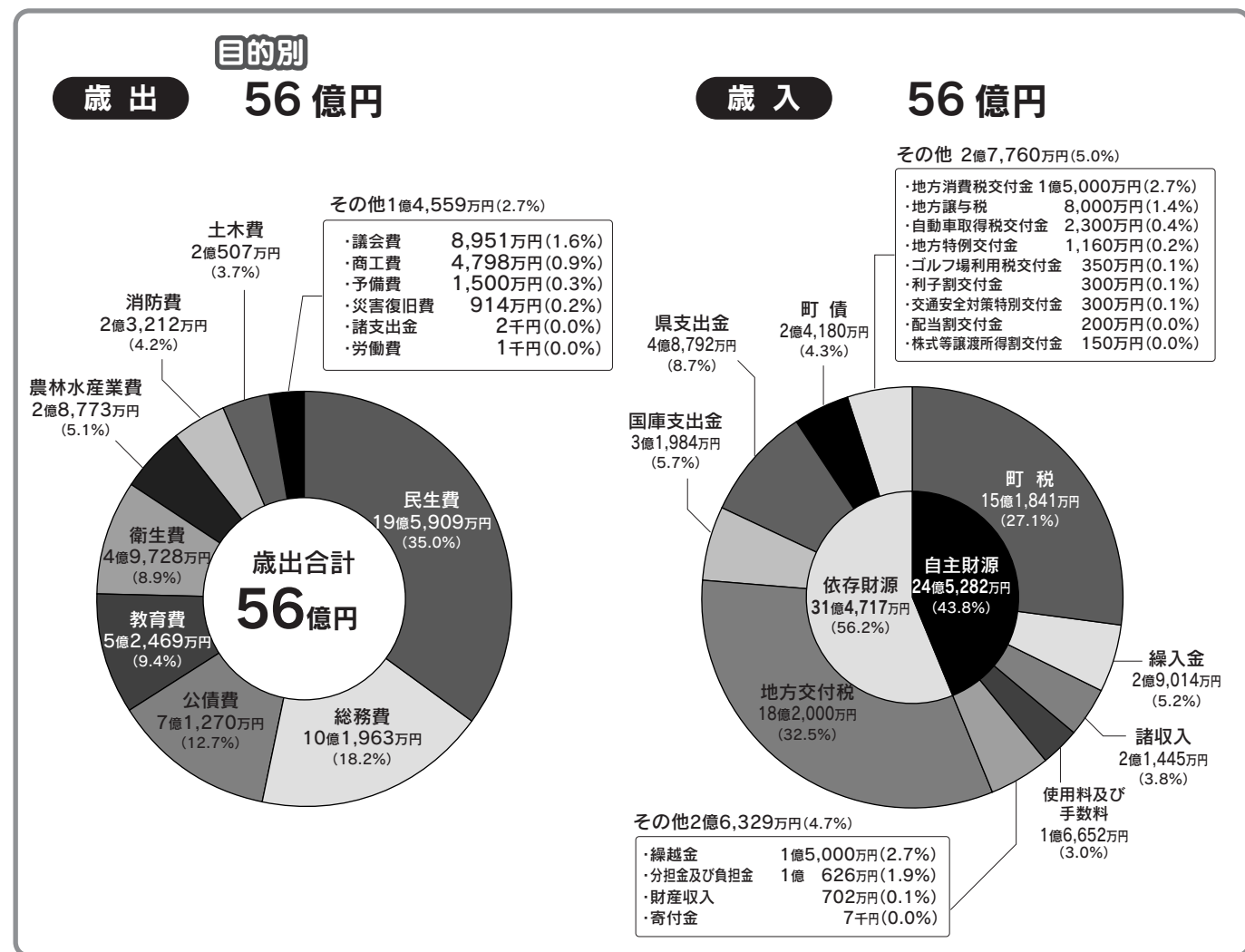
3月定例会

平成20年第1回定例会は、3月10日から27日までの18日間開かれました。

今議会においては諮問2件、同意1件、条例制定3件、条例改正6件、補正予算6件、当初予算8件、認定1件、決議1件を審議しました。なお、新年度の予算は各常任委員会に付託となり、すべての委員会で採択され、本会議において、その他の議案とともに同意可決しました。また、11日の一般質問では8名の議員が町政について問いただきました。

最終日には「道路特定財源の暫定税率の維持を求める決議」を採択し、本県並びに本町にとって、真に必要な道路整備の一層の推進を願ったところであります。

●一般会計予算の構成●



総務財政常任委員会

予算の概要

平成20年度門川町一般会計の予算規模は、歳入・歳出それぞれ56億円で、前年度予算に対し、2・3％の伸びで、金額にして1億2,800万円の増となっています。増額の要因は、児童手当給付、乳幼児医療等、社会福祉医療関連経費、いわゆる扶助費等義務的経費が一般的に増加したものであり、総体的にも国、県の予算に対し、伸び率はわずかであるが高くなっています。一方、地方債の依存度は、国、県の依存度率から比較して、大きく下回っていて、厳しい財政事情の中で、創意工夫のなされた予算編成であるといえます。

歳入の概要

歳入予算の主なもの、地方交付税18億2,000万円、町税が前年度より約1,563万円増の15億1,841万円、国庫支出金、県支出金が8億777万円、町債が2億4,180万円となっています。

また、財源構成では町税、使用料、繰入金、諸収入、繰越金等の自主財源が24億5,282万円で、前年度より1,021万円の増となっています。また、地方交付税、国・県支出金、地方債等の依存財源も31億4,717万円で前年度より1億1,778万円の増となっています。

歳出の概要

歳出予算を「目的別」にみると、福祉施策などの関連経費が増加している。民生費19億5,909万円で全体予算に占める構成比は35・0％と最も多く、以下総務費が10億1,963万円(18・2％)、公債費7億1,270万円(12・7％)、教育費5億2,496万円(9・4％)、衛生費4億9,728万円(8・9％)、農林水産業費2億8,773万円(5・1％)、消防費2億3,212万円(4・2％)となっています。

また、「性質別」にみると、人件費13億7,553万円(25・8％)、扶助費8億788万円、公債費7億1,270万円で、これらのいわゆる義務的経費が28億9,612万円で総予算の51・7％となっています。投資的経費は4億8,210万円で前年度と比較して7・8％の伸びとなっていますが、その要因は三ヶ瀬地区の携帯電話通信用の移動通信鉄塔施設整備事業費1億2,840万円の新規事業の予算措置がなされたことによるものです。その他、物件費、補助費、維持補修費、繰入金、貸付金等の一般行政経費が22億2,177万円(39・6％)となっています。

審査における主な質疑応答

問 デジタルテレビ放送不通地域（西門川地域）の対策について

・西門川地域でケーブルテレビ（TNN）回線が不通の地域は、地元と協議をしていく。

問 場外車券売り場周辺環境整備協力金について

・「サテライト門川」における売上金10億円に対して0・75％の750万円の収入を見込んでいる。今後、周辺地域等への環境整備の助成に向け、補助金要綱を検討する。

問 町づくりプレーヤー支援事業の効果について

・前年度は、1次指定が5件、2次指定が3件の計8件を指定した。地域自ら自主的参加のもとに活動が展開され、それぞれ成果を見ている。今年度も同額の予算措置を行い、地元負担も伴うが地域の活動は拡大しつつある。

問 「地球館」敷地の使用料の有料化について

・前年度からの指摘事項で、当該法人「ひまわり会」とも協議しているが、土地使用契約上から指定用途期間は無償となっていて、現段階では有償扱いはできない状況である。今後とも検討をしていく。

文教厚生常任委員会

民生費

社会福祉費・児童福祉費・老人福祉費・障がい福祉費等に19億5,909万円が計上されています。その中で社会福祉総務費については、主に委託料と負担金補助及び国民健康保険特別会計への繰入金であります。

老人福祉費においても、委託料及び扶助費それに老人・介護両特別会計への繰入金であります。又本年度から始まる後期高齢者医療特別会計への繰入金であります。障がい福祉費につきましては、障がい者相談支援事業等の委託料と第2期障がい福祉計画策定業務及び介護支援事業等の扶助費であります。又児童福祉費や児童措置費については、放課後児童対策事業の委託料や補助金、保育園の児童措置費等の扶助費が主であります。

衛生費

総額4億9,728万円であります。その中で健康づくり関係事業「やっちみろや健康づくりプラン21」の普及啓発と推進に努め、本年度から特定健診（40歳～74歳）が義務づけられましたので、各種の検診事業や予防接種事業の受診率向上と、生活習慣病予防に取り組んで行くとの事であります。

尚、保健衛生総務費と予防費に1億1,027万円が計上され前記事業の負担金と予防接種等の委託料が主であります。

環境衛生費

1億68万円が計上されていますが、日向東臼杵南部広域連合への負担金と、合併処理浄化槽設置事業による補助金であります。又新規事業として

教育費

生活排水対策基本計画策定にあたり300万円の業務委託料も計上されています。又清掃費の塵芥処理費として1億9,601万円、し尿処理費として6,610万円がそれぞれ計上されています。

これは門川中学校体育館整備がすべて終了したものに伴うものであります。その中で教育総務費として1億104万円、小学校費として9,214万円、中学校費として4,632万円、学校給食費として9,776万円の計3億3,728万円であり、主たるものは負担金補助及び交付金、需用費、委託料、工事請負費等であります。

次に社会教育費につきましては、各種民主団体への負担金及び補助金、門川ふるさと文化財団管理運営業務委託（8,167万円）野球場防球ネット工事等（554万円）図書館業務委託（1,308万円）等が主なものです。又本年度は町民体育大会の開催年にあたり146万円の予算が組まれています。

国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療制度に75歳以上の方が加入する為、被保険者数が減少し、加えて基金残高の減少により国保の財政状況等を勘案して保険税の見直しが必要なくされ、本年度は一人当たりの保険税を20％引き上げた予算編成がなされています。国保の長期的安定と健全な財政運営を堅持して行く為には、医療費の適正化対策や健康づくり事業の強化、推進を望むものであります。

老人保健特別会計

本年度の予算総額は歳入・歳出それぞれ3億6,082万円ですが、これは本年度から県内全市町村が加入する、広域連合を保険者とする後

期高齢者医療制度へと移行するためであります。

後期高齢者医療特別会計

本年度の予算総額は歳入・歳出それぞれ3億2,591万円です。歳入の主たるものは保険料・一般会計からの繰入金等であります。歳出は広域連合への医療納付金が主であります。

介護保険事業特別会計

介護保険の適正な給付と、円滑な運営が求められるものです。その中で、第4次介護保険事業計画に基づいた地域支援事業等が重要視されてくると思われます。

審査における主な質疑応答

問 国民健康保険が20％アップした予算が組まれている。その根拠と今後の見通しについて。

・20％程度上げなければ20年度の国保会計がやって行けない。5月の時点で全町民の所得が確定するので、その段階で資産割、世帯割、所得割等が計算される。臨時議会にて最終的に決定する。町民に負担をかけるいようにと言う考えの下に今までやって来たが医療給付費等の増大で基金も底をついてきた。

・国保は医療給付費が基準となりますが、できるだけ町民に負担がかからない様に行きたい。その為に4月から始まる特定健診や特定保健指導、生活習慣病の改善に取り組んで行く。

一般質問

8名の議員が登壇！

産業建設常任委員会

水産業費

農林業費
農業委員会費については、主に委員の報酬でありまして、今年の7月に農業委員の改選となっておりまして、農林水産業費は農業振興費に94万円と町単独を含む各事業補助金363万円が主です。

畜産業費については、肉用牛の繁殖経営の新規者に対し増頭分の10頭分50万円が計上されています。農地費の主なものとして広域農道事業負担金と新規事業として五十鈴川の津々良井堰補修の地元施工に対する補助金が予算計上されています。中山間地域総合整備事業の西門川活性化センターの管理委託料の増額につきましては、土・日曜日の施設の利用も多く社会福祉協議会から要望があった必要な措置がなされています。農業用施設災害復旧費として昨年発生した台風により被災した野地の内地区の農業用施設水路工の災害復旧工費が主なものです。林業関係の予算は、松食い虫防除委託と未植栽地の解消を図るための森林補助費が計上されています。20年度には経営改善新5ヶ年を策定し、県等の指導を頂きながら健全経営に務めるとして、耳川林業協同組合と総合整備事業の貸付金が予算計上されています。治山林道費としては小切畑内の輪線幸谷線のコンクリート舗装工事です。

水産業振興費として貸付金が門川・庵川漁協、門川水産加工組合に計3,800万円が計上されています。新規事業として加工業者の経営安定及び施設の適正管理を図るため漁港保管施設補修事業が予算化されています。商工費の予算は商工振興費の貸付金として町が県の信用保証協会を通じ貸出しを行い中小企業小口融資が1,400万円予算計上されています。

土木費

町道の維持管理と道路新設改良費として曾根の山線道路改良工事等に予算が計上されています。下水路費の工事請負費は米田地区排水路整備工事等があります。海岸保全費の負担金として丸バエ川桶門改修事業に900万円砂防費の補助金として急傾斜地崩壊対策事業の400万円が予算計上されています。都市下水路事業としては、新規事業として本町都市下水路に必要な施設を設計する委託料が主なものです。草川土地区画整理事業特別会計予算は4,106万円で、草川地区内側溝整備工事と予備費であります。又、今後精算徴収事務を考えていきたいとのことでした。

水道事業費

簡易水道事業特別会計予算は964万円であります。給水件数は、上井野、大原地区合計121件を見込んでいます。次に水道事業会計予算については、4億6,100万円で、工事請負費として、門川配水池の2号、3号タンクの

修繕及び幹線配水管の新設、修繕が3路線予定されています。

審査における主な質疑応答

問 住宅使用料滞納分徴収の仕方はどうなっているのか。
・訪問徴収、文書催告を行い連帯保証人にも催告して徴収に努めている。

問 河川工事の土捨場調査測量委託はどこを考えているのか。
・場所は検討中。10万㎡規模以上の土捨場を

問 耳川林業事業協同組合の経営内容の報告はどうなっているのか。
・月ごとに報告をいただいている。

問 門川港フェスティバル開催は各漁協に任しているのか。
・各漁協に任して、やりやすいようにしている。



中村地区

美しい自然環境をお互いに守りましょう



千草 力生
町長..現地在
確認し指導を

問 向ヶ浜で大きな犬を放し飼いにし、運動をさせたり、ふんをそのままにして帰る人がいるので、子供達が遠足に来る所なので環境課で指導してもらえないか。

町長

環境建設課の職員が、すぐに行ったけれど、誰もいなかった。ので早速、向ヶ浜近隣4地区に、犬の散歩についての、班回覧をお願いし、犬の飼育方について再度周知徹底した。

問

五十鈴川上流の食品製造所の排水白濁が、気になるが。

町長

早速現地調査をして場内配水施設状況の、説明を受け異臭はほとんどなく、白濁廃水の処理を行うる過沈殿池への稀釈水の調整を指導した。

問

庁舎のエレベーター工事は行う予定は。

町長

別館の耐震構造が悪いので、補強工事より改築が望ましいとの事で、本館と別館とを切り離すなど、再検討をした。

道路特定財源と道路等の整備は

安藤 福松

町長：暫定税率維持は必要

問 道路特定財源の暫定税率の延長はガソリンや重油等、燃料代の高騰による様々な影響もあり10年延長は長いと思うが、県北地域の高速交通体系の整備はまだ道半ば、暫くの辛抱が必要と思う、町長の考えは。

町長

本町を含む県北の高速道路は、道路特定財源に頼らざるを得ない東九州自動車道の新直轄方式で整備することになっていて。又、佐伯・蒲江間が昨年2月、蒲江・北川間が同じく6月にそれぞれ着工式が行われたばかりである。更に九州横断道延岡線に至っては道路整備中期計画の素案でグループ3つに位置づけられ一歩具体的になったところである。このようにことから県北地域の自治体の首長として暫定税率の維持（10年）を訴えたい

と考える。

問

平成18年度の道路特定財源交付額は1億3千万円（一般財源分を含む）であったが実際の道路整備は少ないが、どのように評価しているか。

町長

道路など普通建設事業に3,300万円。その他維持補修・道路整備債の償還金等に1億3,900万円を使っている。財源不足分は基金で調整している。

問

町道の今後の整備計画は。

町長

松瀬・川水流線道路改良・門川農高通路の改良等や道路舗装維持修繕等に相当の事業費を要し、年次の計画により実施していく。

学校給食の安心安全を



教育長 .. 検査、衛生管理に努める

黒木 裕

問

食の偽装で不安だが、町内の給食は大丈夫か。

教育長

食材納入時の賞味期限の確認、地産地消の推進、機材・食器等の衛生管理、栄養士・調理師による味付けや味見を行っている。冷凍食品は加工時間のかかるハンバーグ・コロッケ等を月に1回、2回程度使用している。食べ残しについては学校で「残食0デイ」を設けて取り組み、好き嫌いについては家庭でも取り組んでいただくよう指導していく。そして、給食費の未収は3月末までには前年度以

下になるよう努力していくという報告を受けている。

問

経験豊富で貴重な人材である団魂の世代が多数退職していくがその後の体制づくりはどうするか。

①体制づくりの指針。
②職員の資質向上のため、昇級試験の採用は
③仕事に役立つ資格取得の奨励、推進を。
④職員採用の年次的計画は。

町長

①退職を控えた課長職の引継ぎを早めるとか、部下の育成、管理能力の向上のため民間機関での研修を考えた

い。

②試験による職員の評価は難しいので、今係長以上に実施している目標管理を試行しているが、それを一般職員にも適用して行いたい。
③職員が自ら取り組み機会を提供することが重要なので、自己啓発を奨励できるシステムを考えている。また自己啓発活動をしやすいような環境づくりに取り組む。
④「行財政改革構想実施計画」で平成25年度末までに161名にする計画だが現在計画をほぼ達成している。今後の人員計画については検討を重ね、「長期総合計画」の中に盛り込んでいく。

過疎集落の後継者育成は

黒木 義秋



町長：地域の活動を積極的に支援

問

65歳以上の高齢者が住民の50%を超えた集落を限界集落と言っている。国は地域事情を反映した国土形成計画を策定する為の検討を県はさらに詳細な事情分析を進めている。本町においても農林漁業集落において少子高齢化後継者不足により将来このような集落が出てくると思われる。ここで本町の過疎集落の現状を把握し後継者の育成医療介護交通防災教育農林荒地の解消等細部にわたり検討する考えはないか伺いたい。

町長

山間部集落の農地住環境整備では現在農地や水、農村環境保全向上対策などに取り組んでいる。交通網についても各集落にアクセスする国道県道の整備努力している。各集落では基盤整備された農地を利用した集落営農などの取り組みも行われている。今後も地域自らが活性化に取り組み、元気な集落を維持していくことが重要、町も活動を積極的に支援していきたい。



自動車道建設現場（小園）

かどがわ

「フォレストエナジー門川」の水害等防止対策は



町長 .. 町で公害防止協定案を作り、企業と協議中

水永 正継

問

竹名地区に建設が予定されている「フォレストエナジー門川」工場の手前には水田が広がり、人家もあるが、水害防止対策等は大丈夫なのか。

町長

町の誘致企業である「フォレストエナジー門川」の工場の立地について、水質汚濁・騒音・振動等に関して、町で公害防止協定案を作成し、企業の担当者と協定書の内容について現在協議をしているところである。操業開始までには、地元住民・企業・町の三者で町議会議長の立ち会いのもと、各種基準について、厳しい内容での

公害防止協定を締結する予定である。また、水害防止対策については、工場敷地に遊水機能を有する排水施設を設置する対策がとれると聞いている。地元にはいない地権者に対しても今後説明を行っていく。

問

町報2月号「平成20年4月から後期高齢者医療制度がはじまります」は、内容の一部が町民に誤解を与えるものになってはいないか。

町長

この説明資料は、厚生労働省が作成したものであり、後期高齢者医療制度のポイントを他市町村と同様に町民

問

中村地区の養豚公害について、その後どのような改善がなされたのか。

町長

①雨水の流れ込む尿溜槽に屋根の設置をした。
②尿溜槽のし尿6・6トンの汲み取りを行った。
③尿路に雨水を分離させるためのコンクリート等の盛り上げを作るよう等、指導した。

側溝清掃の対策は

安田 厚生

町長：地区の事情に応じた支援を検討

問

側溝清掃は定期的に行われているが、高齢者の増加に伴い作業が困難な地域や箇所がある。側溝清掃困難な地域に対しての対応は。また、生活環境の向上を目的に各地区などが自主的に行う道路側溝の清掃に対して支援・補助金等を交付する考えは。

町長

側溝清掃には、ふた上げ機の貸し出しやごみ運搬するためのダンプの貸し出しを行い、地区の事情に応じた支援を今後も検討していく。

問

小・中学校の体育大会・運動会の練習中に気分不良や熱中症などが心配される。体育大会の実施時期について改善策が必要と思われるか。



側溝清掃

町内の企業流出対策は



町長 .. 実状把握に努め
対応していきたい

小林 芳彦

せるとのことだったが、その後と効果は。

問 町長は重要課題の一つとして「総合的な行政力を高める」を掲げ実行している。そんな中、昨年機構改革を行い、1年が経過したが、どのような効率を図られたのか。

町長 本館1階に町民、税務福祉をまとめ、窓口のワンストップサービスを実現し、相談室も設置した。町民の皆様にとつて、役場が利用しやすい、相談しやすい状況になった。今後も行政事務の効率化や職員の意識向上に努め、更なる行政力の向上を目指す。

問 町職員に対して1年間の業務目標を設定さ

町長 今年度より係長以上の職員に対して、1年間の目標について目標管理を実施し、試行している。来年度から、全職員を対象に実施することにより全員がしっかりとした目標を持つところからスタートさせたいと考えている。

問 門川町は、平成8年以降企業誘致が無かったが、ようやく門川町バイオマスタウン構想に基づく企業が竹名地区に進出し、嬉しく思っている、一方で町内企業の流出に歯止めがかからない状況が続いているが、町長はこのことをどう考えてい

るのか。

町長 本町は、新産業都市指定以来、用途地域が整備され、企業の増床や移転を希望しても思いに添うところがない状況だが、立地場所として可能性のある土地を事前に調べて、情報として蓄積しておくことが必要と考えている。

問 今後の町内の企業流出の対策は。

町長 町内企業を積極的に訪問し、要望や規模拡大の情報を得て対応していきたい。企業誘致も町勢要覧などを使って活発に推進していきたい。

委託料は適正か

神崎 千香子

町長：適正に決定運用

問 18年度決算では、委託案件106件、5億円と委託事業が多くなっている。とくに福祉協議会には、包括支援センター、福祉センター、西門川児童館、西門川活性化センター等施設委託を含め増えている。施設の運営、働いている方々の条件等、委託料は適正なのか。

町長 委託料は事業内容、事業効果、福利厚生、事業経費等において、専門性や、地域の特性を考慮し、詳細に精査し、適正に決定して、運用されている。

しかし、委託契約書等については、問題のあるものもあるので、訂正していく。委託事務執行の『適正化に関する規約』を作ること

問 活活性化センターの管理委託料60万円について、社会福祉協議会

は、時給450円で契約しており、働いている人には、18年度、31万円しか払っていない。社会保険もかけていない。この二つの法律違反に対する町長の見解は。

町長 町との委託契約書に勤務時間等が入っていたりしていたので是正していく。

福祉課長 今後契約内容も含め指導していく。

問 委託料60万のうち、本人には31万円しか払っていない。後27万円と事務費2万円は何に使われたのか。

産業振興課長

60万円の根拠は実働4時間の年間一括契約なので確認していない。

問 監査員におたずねしたい。

監査員 社協の事務なのでお答えできない。



今回の議会で条例の一部が改正されました。

●門川町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について
職員に自己啓発及び国際協力の機会を提供することを目的として、職員が自発的に課程の履修又は国際貢献活動を可能とするための休業制度の創設を行うものです。

●門川町父子家庭医療費助成に関する条例の制定について
母子家庭の医療費にかかる助成と同様の制度を新たに父子家庭にも設けることで、父子家庭の父と子に早期受診を促進し健康増進と福祉の向上を図ることを目的とするものです。

諮問

人権擁護委員に二氏を推薦(全員賛成)

松本英毅氏
黒木隆晴氏

同意

門川町副町長に小野康文氏を選任(全員賛成)

●門川町後期高齢者医療に関する条例の制定について
後期高齢者医療制度がスタートし、町が行うこととなっている事務や保険料の納期などの必要な事項について定めるものです。

●門川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
育児制度に加えて、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員に、育児と仕事の両立が可能となるように、育児のための育児短時間勤務の制度を追加するものです。

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
育児のための短時間勤務制度の導入により、必要となる条項の改正を行うものです。

●門川町重度心身障がい者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について
後期高齢者医療制度が開始されることに伴い、社会保険各法を脱退し、後期高齢者医療制度に加入することになり、高齢者の医療の確保に関する法律を定義に追加するものです。

●門川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
一般廃棄物取扱業許可手数料及び清掃手数料の改正であります。
一般廃棄物取扱業許可手数料1件につき、5千円に改め、また特定家庭用機器廃棄物運搬手数料、3千円、4千円、等々の改正です。

発議

●道路特定財源の暫定税率の維持を求める決議
本県にとって、真に必要な道路の整備を一層推進する必要がある、その財源である道路特定財源の維持は不可欠なものである、よって暫定税率を維持するための関係法案を確実に年度内に成立させるよう強く求める。

●門川町道路路線の認定及び廃止について
廃止する路線は下大池線の1件、認定する路線は廃止路線と同じ名前の下大池線の1件と平城区19号線の合わせて2件です。



門川中学校入学式



小園いせきの上にかかる自動車道



門川小学校入学式



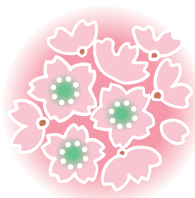
青空を泳ぐこいのぼり



五十鈴小学校入学式

編集後記

新年度の予算が決まり、各学校では新生が入り、また職場においては新社会人が、共に明るい希望を持ちスタートしたのだと思います。様々な事件、出来事で息のつかない世の中ですが、自分を見失うことなく、地に足をつけて物事に対処しなければならぬと再確認した次第であります。



議会広報編集特別委員会

委員長 黒木 裕

副委員長 水永正継

委員 安田厚生

委員 千草力生